



檜山管内スポーツフェスタ

「軟式野球競技」せたな町チーム優勝！ 8/19

8月19日（日）、今金町にて開催された平成19年度檜山管内スポーツフェスタ「軟式野球競技の部」にせたな町から大成区チームと、瀬棚区と北檜山区の混合チームが出場し、混合チームは見事優勝の座に輝きました。今大会は、檜山管内より5町6チームが出場し、大成区チームは残念ながら1回戦で敗退しましたが、混合チームは1回戦の乙部町、準決勝の今金町と接戦の末勝利し、決勝戦では厚沢部町と対戦、6-3で勝利し、檜山管内の頂点の座を射止めました。

瀬棚区コミュニティ運動推進協議会（瀬棚区）

道路愛護協力者表彰を受賞！ 8/20

8月20日（月）、瀬棚区コミュニティ運動推進協議会（新保静夫会長）が平成19年度道路協力者として、道路フェスティバル函館地域実行委員会（函館開発建設部）より表彰されました。

当協議会は、平成7年度より国道229号線沿いの緑地帯を利用し、花を植栽する「花のまちづくり運動」を展開、函館開発建設部が地域の国道緑化を支援する「ボランティア・サポート・プログラム」の協定を結び、平成14年度から毎年、国道緑化事業を続けていることが評価され、今回受賞されました。



車椅子3台寄贈

JAバンクから社会福祉協議会に 8/21

JAバンク（JA/JA北海道信連）は8月21日（火）、せたな町社会福祉協議会（佐々木秀雄会長）にアルミ製の車椅子3台を贈りました。今回の寄贈は、JAバンクが地域社会との「共生」をテーマに、社会福祉への貢献活動として、平成13年度より行なっている「車椅子寄贈事業」の一環。贈呈式では、寄贈者としてJA北海道信連札幌支所 長谷川雅志所長から経過報告、JA北檜山関秀人代表理事組合長からあいさつの後、JA新函館若松支店 小西勝則代表理事専務から目録が手渡されました。

第一管区海上保安本部長より（瀬棚区）

「瀬棚気合一本!!」に感謝状 8/27

8月27日（月）、YOSAKOIソーランチーム「瀬棚気合一本!!」（増田みさ子代表）が、第一管区海上保安本部長より感謝状を授与されました。平成17年より、「瀬棚気合一本!!」はYOSAKOIソーラン祭りに参加する際、地方車に救命胴衣具の着用や海難防止を呼びかける広報幕を掲げながら、海での安全意識の向上を訴えており、これが海難防止活動及び海上保安思想の普及に尽力したとして、表彰されました。授与式で、踊り子代表の小泉理子さんは「これを励みに来年も頑張ります」と早くも来年に向けて意気込んでいました。





軟式野球函館支部大会で初優勝！（北檜山区）

紀北クラブが初の全道大会へ！ 9/1

第30回東日本軟式野球（二部）函館支部大会が、7月28日から30日まで開催され、せたな町の紀北クラブ（山内裕之監督）が念願の初優勝を果たし、9月1日から岩見沢市で開かれた全道大会へ出場しました。この紀北クラブは、丹羽野球チームが解散して新たに6年前に結成したチームで、北檜山区丹羽地域にゆかりのあるメンバー20名で構成。命名の由来は、丹羽地域の象徴でもある水仙で有名な玉川公園のある小金山（おきんざん）の昔の名称「紀北山（きほくさん）」からとったもの。全道大会では、惜しくも2試合目で敗退したものの、目標であった1勝は達成することができました。

都地域の青色混合チームがV2達成（大成区）

第11回わっためがして運動会 9/9

9月9日（日）、大成中学校グラウンドで恒例の商工会長杯争奪町内スポーツ大会「わっためがして運動会」が行われました。今年で11回目となるこの運動会は、大成区内の地域を緑・青・黄・桃色の4チームにわけて、毎度おなじみの「引きぎわが肝心」（綱引き）、「ヘイ！タイヤ」や、「ペットで立たせて〜！」、「ひろシーソー」などのユニークにとんだ競技を、参加した選手のみなさんはそれぞれ優勝を目指しがんばりました。結果は、青色合同チーム（都）が二年連続（V2）優勝を果たしました。



秋の訪れを告げる（瀬棚区）

事比羅神社例大祭 9/9-10

檜山北部の秋祭りのはじまりを告げる、瀬棚区の「事比羅神社例大祭」が9月9日、10日行われました。

9日の宵宮祭では小雨がばらつく中、松前神楽、奉納踊り、そして太鼓合戦が行われました。

10日の例大祭は午前中からあいにくの雨で、2台の山車の巡行はお昼からとなりましたが、御神輿は朝から町内を練り歩きました。

夜になり、雨が激しく降る中、綺麗に着飾った踊り子さんたちも一生懸命踊りを披露し、2台の山車は無事に町内を巡行しました。

激しい雨の中、一層激しく太鼓合戦（北檜山区）

雨の真駒内神社例大祭 9/14-15

五穀豊穡を祝い、北檜山区で最も盛大に執り行われる「真駒内神社例大祭」が9月14日、15日に行なわれました。今年の本まつりは、午後から雨となり、豪壮華麗なお神輿と山車には防水シートが施されたの運行となりました。太鼓合戦では、一段と激しい雨を浴びながら、より一層激しい馬鹿囃子（ばかばやし）が披露されました。

